

平成27年5月25日

九州地方整備局

武雄河川事務所

平成27年度 牟田辺遊水地水防訓練を開催します。

出水期に備えて、国・佐賀県・多久市等の関係機関との共通認識を再確認することを目的として、牟田辺遊水地における水防訓練（道路通行止め訓練）を下記のとおり開催します。

- 1 日 時：平成27年5月27日（水）13時30分～15時00分
- 2 場 所：牟田辺遊水地（佐賀県多久市南多久町牟田辺地先）別紙
- 3 関係機関：国土交通省武雄河川事務所、佐賀県（佐賀土木事務所）、多久市、災害時協力会社（深町・モロドミJV）

牟田辺遊水地は、平成2年7月出水を契機に建設され、平成14年6月に完成した洪水調節施設で、施設の規模は以下の通りです。

洪水調節容量 90万m³、
遊水地面積 53.4ha

牛津川に大きな洪水が発生した場合に、洪水の一部を一時的に、遊水地で貯めることにより、牛津川下流の洪水被害を軽減するのに効果を発揮するものです。

日頃は、田畑として利用されている牟田辺遊水地ですが、洪水により湛水する際に遊水地内の道路が水没してしまうため、これら道路の通行止め訓練を行うものです。

- ・ 巡視経路の確認（2班体制）
- ・ 通行止め完了までの所要時間の確認
- ・ 通行止め箇所及び、通行止めポスト、鎖の損傷、動作確認
- ・ 河川情報表示装置の点検、確認

問い合わせ先

国土交通省 武雄河川事務所

技術副所長 石橋 浩

管理課長 宮原 満弘

TEL 0954-23-5151（代表）

牟田辺遊水地で洪水調節を実施

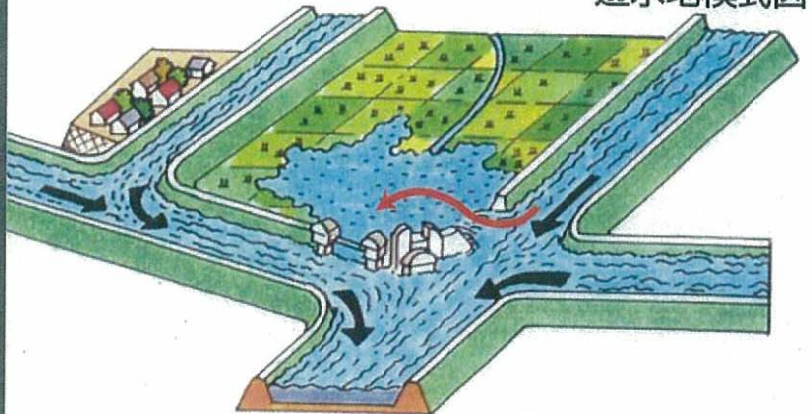
2002年の完成後、これまで2009年、2012年に洪水調節を実施し、下流の水位を低減しています。

多久市南多久町牟田辺地区 牟田辺遊水地



平成21年7月出水

遊水地模式図



■ 遊水地のしくみ ■

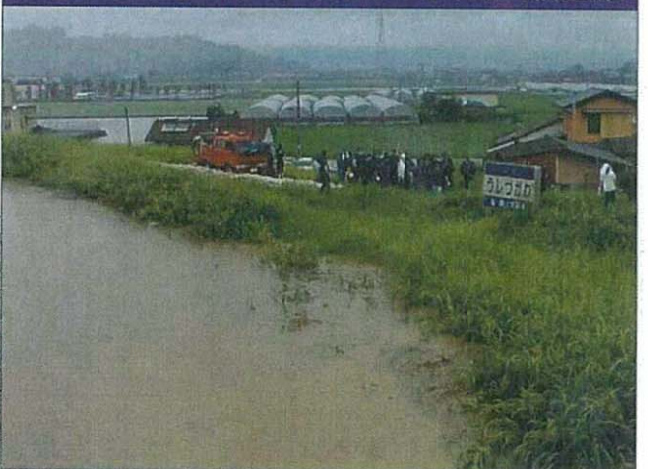
大きな洪水の時、遊水地に一時的に河川の水をため込み、下流へ流れる水量を減らします。

もし牛津川の堤防が決壊していたら…

牛津川8k000左岸が決壊した場合、これだけの被害が想定されます。

- ・浸水面積……約1,300ha
- ・被災人口……約10,000人

小城市牛津町砥川地区国道34号牛津大橋上流



堤防から水が溢れる恐れがあるため、水防活動（積み土のう工）を実施！



凡例

浸水深	
0~0.5m	0.5~1.0m
1.0~2.0m	2.0m~

